

Coinhive事件の経緯・概要

- Coinhive等のWebマイニングツールを閲覧者に無断で導入したとして神奈川県警などが計21人を検挙
- 神奈川県警に検挙されたモロ氏は経緯をブログで公開
 - 警察の杜撰かつ横暴な捜査・取り調べを受けたことを暴露
 - 法解釈や検挙理由に問題があるとして無罪を主張、裁判へ
 - 2019年3月、横浜地裁にて無罪判決、横浜地検は不服として控訴
 - 2020年2月、東京高裁にて逆転有罪判決、被告は上告する姿勢
- 不正指令電磁的記録に関する罪(ウイルス罪)の要件が曖昧で地方警察による乱暴な摘発が相次いでいたこともあり問題視

Coinhive事件の争点・裁判

- Coinhiveが不正指令電磁的記録に当たるか、**反意図性**と**不正性**が争点
- **横浜地裁では不正指令電磁的記録に該当しないとし無罪判決**
 - 反意図性は認定
 - ...マイニングを実行する際に同意を取得する仕様ではなかった
 - 不正性には合理的な疑いがあるとして認定せず
 - ...適切な負荷率を設定・刑事罰は行き過ぎ・賛否両論あり
 - ...「現在のみならず将来的にも閲覧者にとっては利益となる側面がある^[1]」
- **東京高裁ではプログラムの不正性を認定して有罪判決**
 - Webマイニングに対して賛否があったことは不正性とは関連がない
 - 被告人がCoinhiveの違法性を実質的に認識していたとして故意を認定

Coinhive事件の今後の展望

- 当のCoinhiveはMoneroの暴落を受け2019年3月にサービス終了
 - Coinhiveスクリプトを使用したサービスは現在も約6万以上存在
- Coinhiveを含むWebマイニングツールは既存のインターネット広告に代わる収入源として期待されていたが、色々なトラブルが発生していた
 - 漫画村が使用していたことで国内でも話題に
 - ユニセフなど肯定的に活用していた組織もあった(現在は停止)
- ウイルス罪の適用範囲が曖昧、新技術の導入の萎縮を招く
 - 適切な法整備・運用が期待される

引用・参考文献

- [1] Takashi HIRANO, “Coinhive_1_1.pdf”, 2019-04-15, <<https://drive.google.com/file/d/1blc6ePxflkbaycLeYPaiOc700Qd750Qdi/view>>
- Takashi HIRANO, “Coinhive_高裁判決_開示.pdf”, 2020-02-08, <<https://drive.google.com/file/d/1o8yRQR3FyzKWITXfbPmxdtKivsw2sgB4/view>>
- モロ, 「仮想通貨マイニング（Coinhive）で家宅捜索を受けた話」, 2019-03-28, <<https://doocts.com/3403>>
- Bronson Boersma, 「脅威調査レポート：暗号通貨マイニングの現状」, BlackBerry Cylance, 2020-05-13, <https://www.cylance.com/ja_jp/blog/jp-threat-research-report-the-state-of-cryptomining.html>
- @coinhiveuser, 「Coinhive裁判傍聴記録 | coinhiveuser.github.io」, <<https://coinhiveuser.github.io/chtrialreport/chtrialreport.html>>
- 大塚昭彦, 「ウイルス罪の解釈と運用はどこが「おかしくなっている」のか」, TECH.ASCII.jp, 2019-05-27 <<https://ascii.jp/elem/000/001/864/1864342/>>